

動画の再生／結合保存ソフトウェア

EOS MOVIE Utility

Ver.1.5



使用説明書

● 本使用説明書上のおことわり

- 名称の EOS MOVIE Utility を EMU と表記しています。
- カメラの名称をアイコンで示しています。
例：EOS-1D C → 1D C
- は対象カメラを示しています。
- ▶ の手順は、メニューの選択順序を示しています。
(例：メニューの【ファイル】▶【終了】を選ぶ)
- [] 内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- < > 内の語句は、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
また、クリックすると参照ページが表示されます。
- ：注意事項です。
- ：補足説明です。

● ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
▶ ：次ページ
◀ ：前ページ
↺ ：ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された見出しをクリックすると、見出しのページが表示されます。また、目次ページの読みたい項目をクリックすると、そのページが表示されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

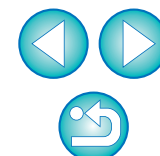
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



はじめに

EOS MOVIE Utility (以降 EMU と表記) は、対象カメラで撮影した MOV 形式動画の再生・結合保存を行うためのソフトウェアです。

● EMU でできること

EMU は、対象カメラで撮影した動画ファイルをスムーズに再生することができます。また、EOS-1D C で、Canon Log ガンマを設定して撮影した動画にビューアシストを設定して再生することもできます。その他、録画時に 4GB ごとに分割された動画ファイルの連続再生や結合保存 (EOS-1D C、EOS-1D X Mark II、EOS 5DS/EOS 5DS R、EOS 7D Mark II で可能)、静止画の取り出しなども可能です。

● Canon Log ガンマとは？

広いダイナミックレンジにより、暗部からハイライトまで豊かな階調表現を実現する機能です。CMOS センサーの高い実力を、余すことなく引き出します。

● クリップとは？

1 回の撮影操作で記録される動画のことをクリップといいます。

⚠ メモリーカードのアクセス中に、メモリーカードをカードリーダーから抜かないでください。

動作環境

● 動作環境については弊社ホームページをご確認ください。

対応動画

動画の種類	拡張子
対象カメラで撮影した MOV 形式動画 *	.MOV

* ビデオスナップ動画には非対応

● MP4 形式動画は対象外です。

対応カメラ

EOS-1D C	EOS-1D X Mark II	EOS-1D X
EOS 5DS/ EOS 5DS R	EOS 5D Mark III	EOS 6D
EOS 7D Mark II	EOS 70D	—

はじめに

目 次

準 備

基本画面

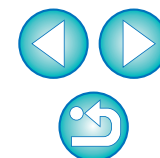
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



目 次

はじめに	2
動作環境	2
対応動画	2
対応カメラ	2
ソフトウェアのインストール	4
EMU を立ち上げる	4
基本画面	5
メイン画面	5
クリップを再生する	6
クリップの再生	6
再生時の操作	8
音量を調節する	9
再生速度を変更する	9
再生位置を移動する	9
マーカーを設定する	10
範囲を指定して再生する	11
Canon Log ガンマを [入] で撮影した動画を再生 する	12
フルスクリーンで再生する	13
動画の表示サイズを切り替える	13
動画ファイルの情報を確認する	14
静止画として保存する	15
静止画の保存設定	15
静止画保存時の操作	17
静止画の 1 枚保存	18
複数静止画保存	18
マーカー設定したフレームをすべて静止画保存する	20

動画ファイルを結合保存する	21
クリップを構成する動画ファイルを確認する	21
分割された動画ファイルを結合保存する	22
フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを 結合保存する	22
1 クリップのみの分割された動画ファイルを結合保存する ...	24
EMU を終了する	24
資 料	25
こんなときは	25
エラーメッセージ	25
キーボードコントロール	26
ソフトウェアを削除する（アンインストール）	27
この使用説明書について	28
登録商標について	28
EOS DIGITAL 用ソフトウェアに関するご相談窓口	28

はじめに

目 次

準 備

基本画面

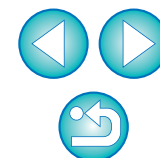
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



ソフトウェアのインストール

❗ ソフトウェアのインストール時には、パソコンの管理者権限が必要です。

- 1 キヤノンのホームページからダウンロードした EMU の圧縮ファイル（.gz 形式）をダブルクリックして解凍する
- 2 解凍したファイル “emum1.5.0-installer.dmg” をダブルクリックする
→ ディスクイメージ “EMU 1.5.0” がマウントされます。
- 3 ディスクイメージ “EMU 1.5.0” をダブルクリックし、表示されたファイル内の “emum1.5.0-installer” をダブルクリックする
- 4 画面の指示に従ってインストールを行う

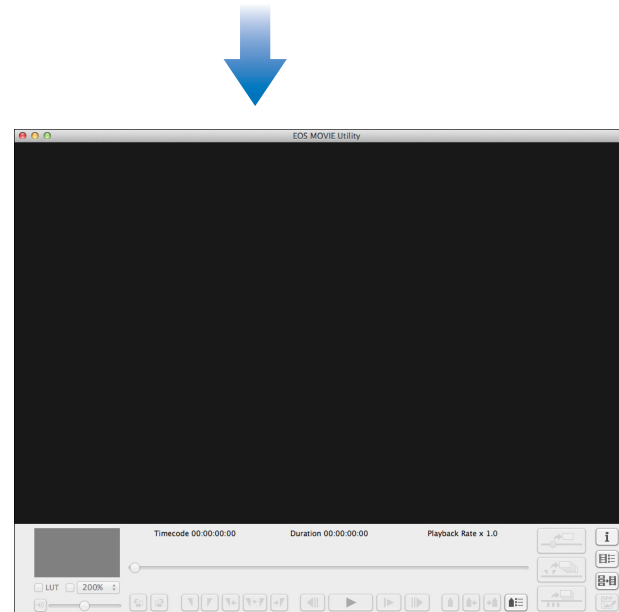
EMU を立ち上げる

Dock 内にあるショートカットをクリックする



クリック

→ 立ち上がるとメイン画面が表示されます。



📌 EMU を複数同時に起動することはできません。

はじめに

目次

準備

基本画面

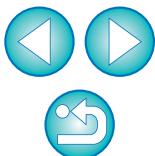
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



基本画面

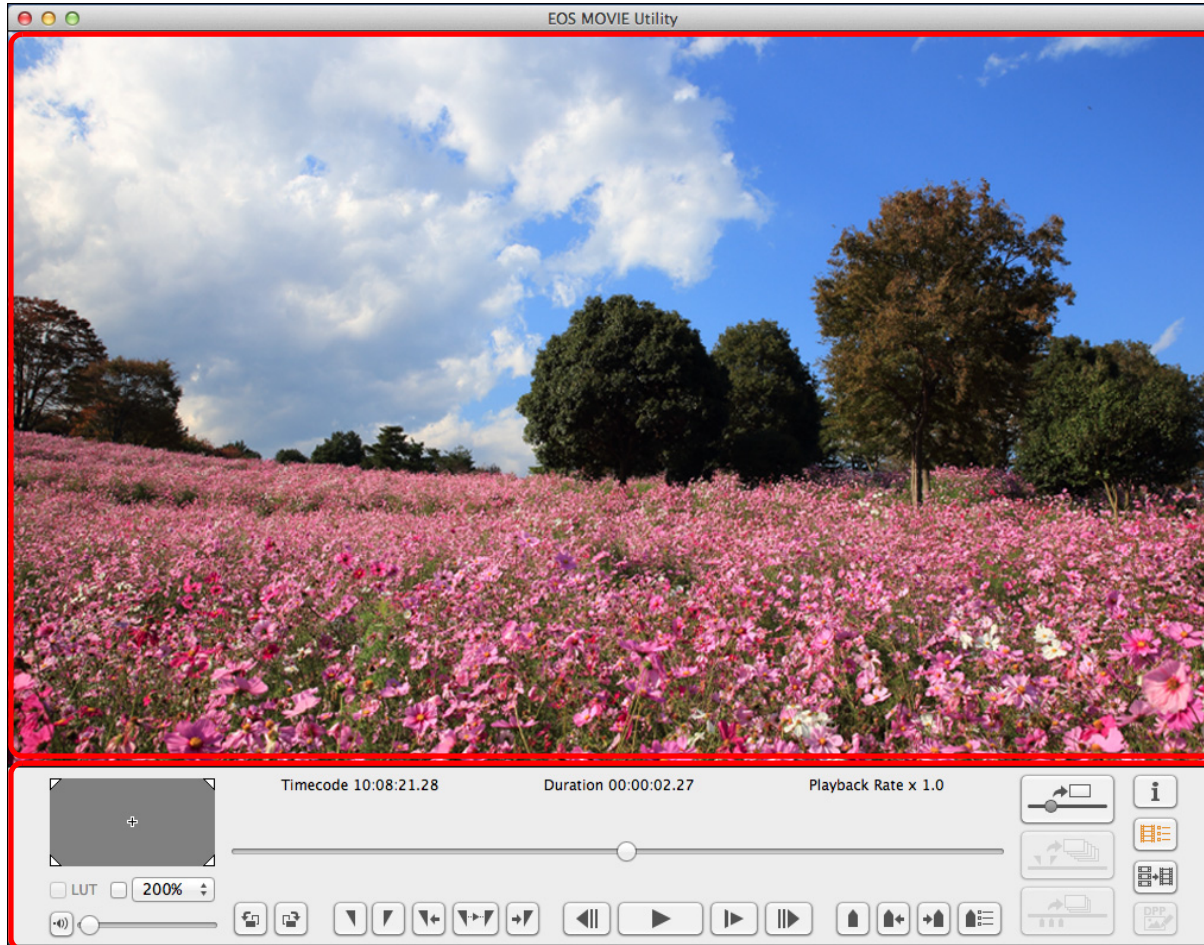
メイン画面

クリップの表示や、再生・停止・静止画保存・動画ファイルの結合保存などの操作を行うことができます。



メニュー

各種機能を実行するメニューです。



プレビューエリア

再生するクリップが表示されます。

コントロールエリア

再生操作、静止画保存、動画ファイルの結合保存などを行います。

- メイン画面の幅を狭めると、コントロールエリアの一部の操作部分が表示されないことがあります。その場合は、メニューから操作を行ってください。

⚠ 「このファイルを開けません」というメッセージが表示された場合は、OS 標準の動画プレイヤーなど、EMU 以外のソフトウェアで動画ファイルを再生してください。

はじめに

目次

準備

基本画面

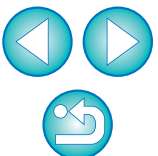
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



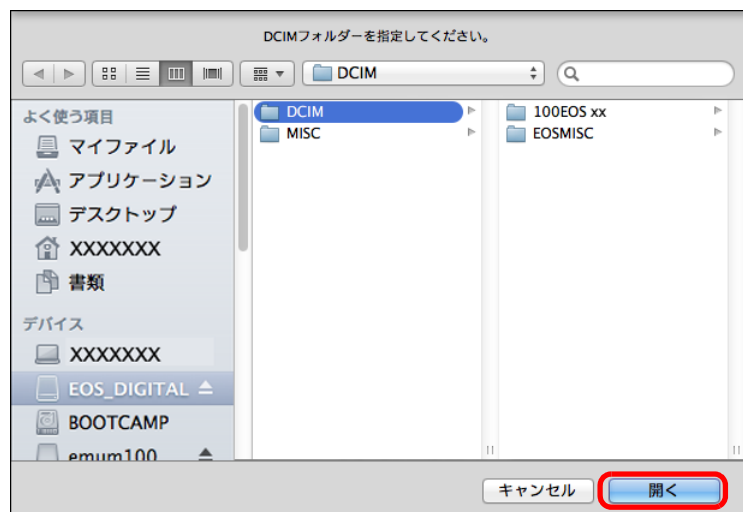
クリップを再生する

クリップの再生方法を説明します。

メモリーカード内のクリップが保存されたフォルダは、あらかじめ、カードリーダーを使用してパソコンにコピーしておくことをおすすめします。

クリップの再生

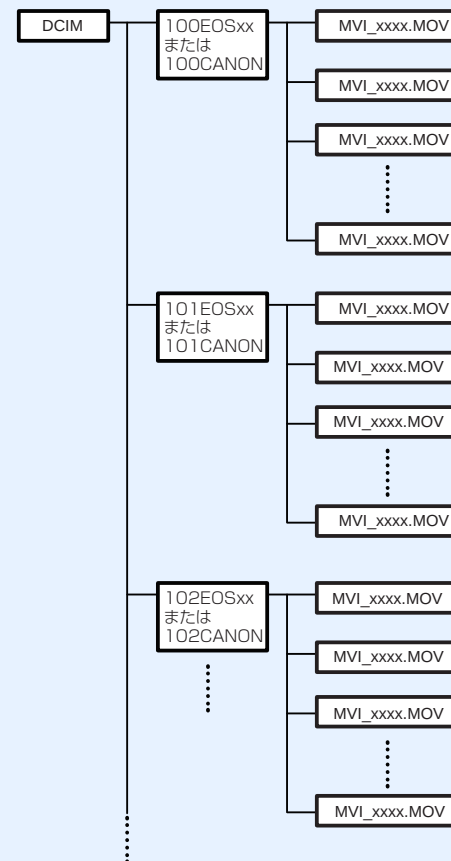
- 1 メイン画面でメニューの【ファイル】▶【開く...】を選ぶ
→ フォルダを選択する画面が表示されます。
- 2 再生するクリップが保存されたフォルダを選択した後、【開く】ボタンを押す



→ 【クリップリスト】画面が表示されます。

- メモリーカードをカードリーダーに挿入の上、パソコンに接続して、メモリーカード内のフォルダを直接選択することもできます。
- カメラ本体をパソコンに接続して、カメラのメモリーカード内のフォルダを直接選択することはできません。

! カメラで撮影された動画ファイルは、以下のフォルダ構成にしたがってメモリーカードに記録されます。



当ソフトウェアでは、このフォルダ構成が維持されていないと、クリップが正しく再生ができない場合があります。クリップを再生する場合は、このフォルダ構成を維持したまま、フォルダ構成の最上位の階層にあるDCIM フォルダを選択してください。なお、このフォルダ構成が維持されていても、選択したフォルダ名が【DCIM】と異なる名称に変更されていると、正しく再生ができない場合がありますのでご注意ください。

はじめに

目次

準備

基本画面

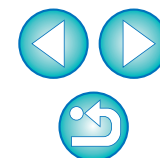
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



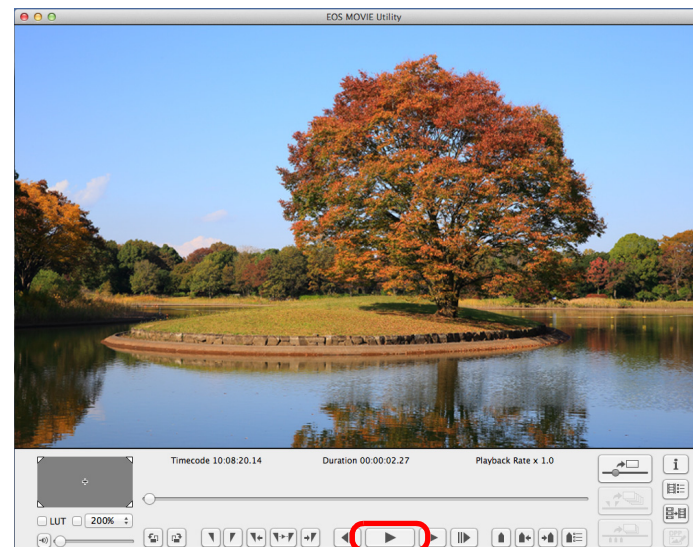
3 【クリップリスト】画面で再生するクリップを選ぶ



→ クリップの画像がメイン画面に表示されます。

- 【クリップリスト】 上部の【】ボタン、【】ボタンを押すと【クリップリスト】の表示方式を切り替えることができます。
- 【クリップリスト】は、【ソート】機能で【撮影日時】、【クリップ名】、【クリップ長】、【レーティング】の条件で並べ替えを行うことができます。
- 【クリップリスト】の【レーティング】、【コメント】は、クリップを選択し、<control>+ クリックして表示されるメニューから変更することができます。

4 メイン画面で【】ボタンをクリックする



→ クリップが再生されます。

- タイムラプス動画にはタイムコードがついていませんが、EMUで再生するときは、先頭タイムコードが00:00:00:00の動画として表示されます。
また、その場合はタイムコード表示には【*】が追加されます。
- 再生時の操作については、[p.9](#)～[p.13](#)「再生時の操作」～「動画の表示サイズを切り替える」を参照してください。

❗ 録画時に4GBごとに分割された動画ファイルの連続再生を行うことができるのは、**1D C**、**1D X Mk II**、**5DS/5DS R**、**7D Mk II**です。

はじめに

目次

準備

基本画面

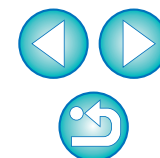
再生

ファイル情報
確認

保存

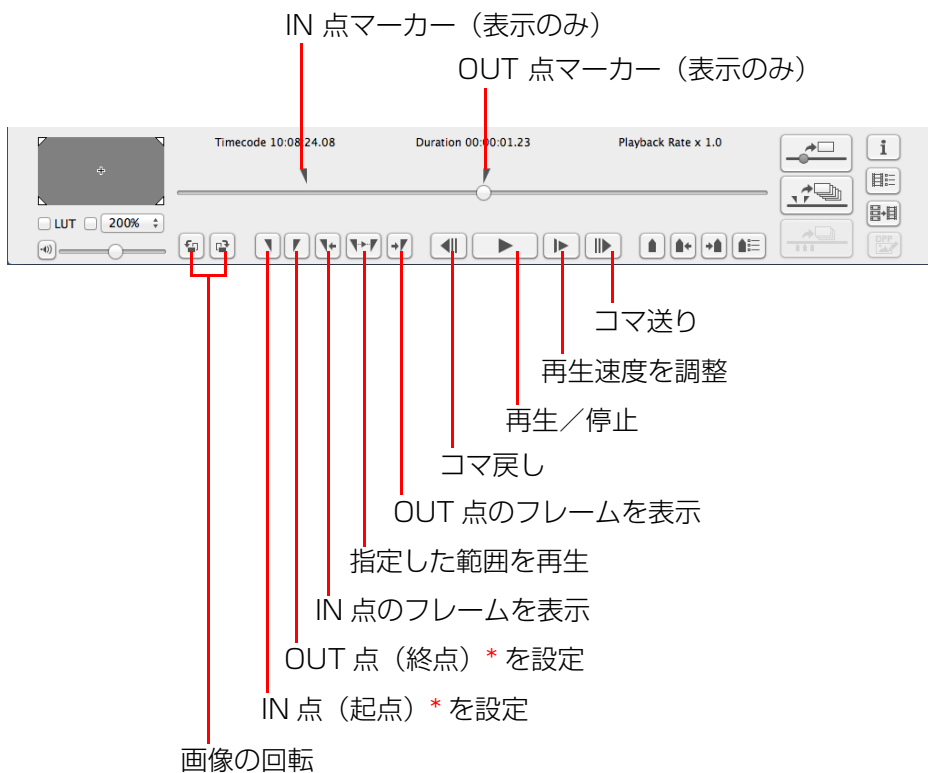
終了

資料



再生時の操作

再生時は、各種ボタンで下記の操作ができます。



*範囲を指定して再生する (p.11)、複数静止画保存 (p.18) のIN 点（起点）、OUT 点（終点）です。



- 画像を回転させると、該当クリップの次回以降の再生時も、回転状態が保持されます。なお、カメラでの再生時は、回転状態は保持されません。
- 画像を回転させると、該当クリップから静止画を切り出して保存するとき、保存された静止画に回転状態が反映されます。
- 【クリップリスト】画面では、〈↑〉〈↓〉キー、またはマウスのクリックで選ぶクリップを切り替えることができます。
- 【クリップリスト】画面のクリップ名をダブルクリックしても、クリップを再生できます。
- 【クリップリスト】画面を閉じて、リストの内容は保持されます。コントロールエリアの【目録】（クリップリスト）ボタンを押すか、【表示】メニューから【クリップリスト...】を選ぶと、再度【クリップリスト】が表示されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

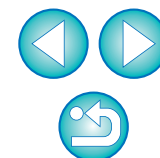
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

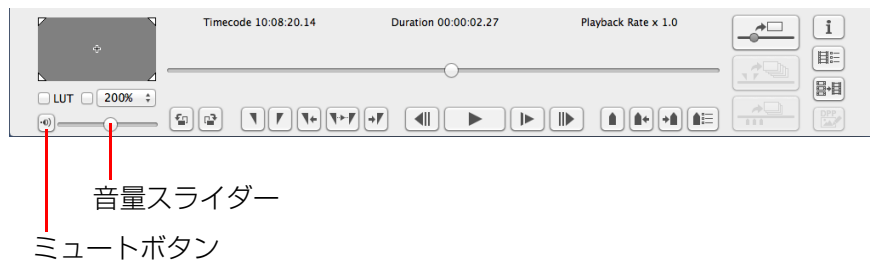
資料



音量を調節する

音量スライダーで、再生時の音量を調整できます。

音量スライダーを左右にドラッグする

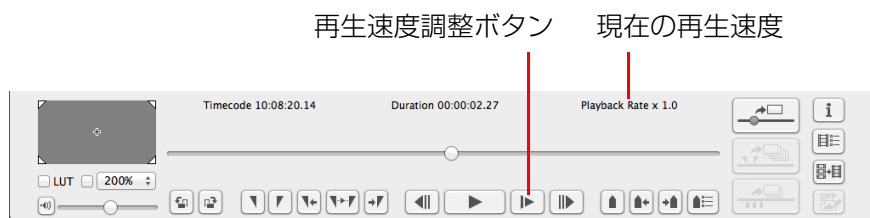


- 音声を一時的に消したいときは、【】（ミュート）ボタンをクリックします。

再生速度を変更する

動画の再生速度を変更することができます。

動画を再生中に【】ボタンを押す



- 【】ボタンを押すたびに、再生速度が変更されます。



- メニューの【EOS MOVIE Utility】▶【再生速度設定...】を選択して表示される画面で、変更する再生速度を選ぶことができます。
- 再生速度がx1.0以外の場合は、音声は再生されません。

再生位置を移動する

フレーム位置スライダーで、再生位置を移動することができます。

再生中または停止中に、フレーム位置スライダーを左右にドラッグする



はじめに

目次

準備

基本画面

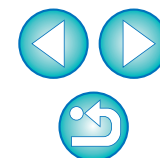
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

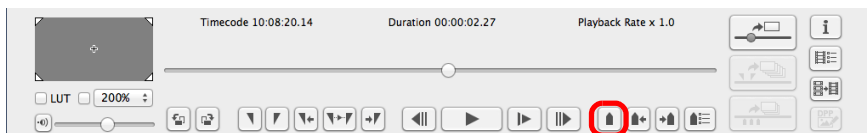
資料



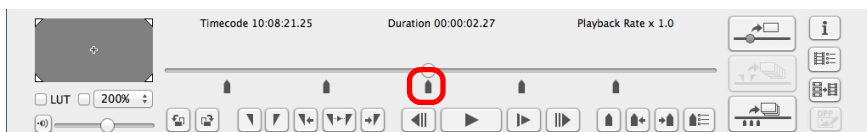
マーカーを設定する

マーカーを使って再生開始位置の指定などを行うことができます。マーカーは最大 20 まで設定することができます。

フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、マーカーを設定したい位置で、【】（マーカー追加）ボタンを押す



→ マーカーが設定されます。



- 【】 ボタン、【】 ボタンを押すと、ボタンの矢印方向の隣マーカーが選択され、その位置のフレームが表示されます。
選択されているマーカーより、クリップの先頭側にマーカーがないときは、クリップの先頭フレームが選択・表示されます。クリップの終点側にマーカーがないときは、クリップの終点フレームが選択・表示されます。
- 【】（マーカーリスト）ボタンを押すと、マーカーのリストを表示します。
クリップの先頭から近い順に、1 から番号を割り当てたマーカー番号とタイムコードが表示されます。



- ・ リストから番号を選び、【移動】 ボタンを押すと、選択されているマーカー位置へ移動してそのフレームが表示されます。番号がひとつだけ選ばれているときのみ有効です。
 - ・ リストから番号を選び、【削除】 ボタンを押すと、選択されているマーカーが削除されます。
 - ・ リスト上のマーカー位置のフレームをすべて静止画保存することができます。(p.20)
- 動画再生中も【】（マーカー追加）ボタンを押して、マーカーを設定することができます。

 選択したクリップへのマーカーの設定内容は、自動保存され、次回、EMU で該当クリップを扱うときは、設定が継続されます。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

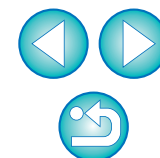
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料

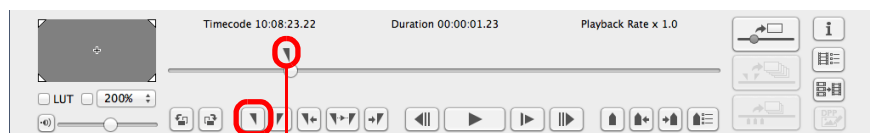


範囲を指定して再生する

選択したクリップに対して、再生する範囲の指定を行い、指定範囲内のみを再生することができます。

1 「クリップの再生」(p.6) の手順 1 ～ 3 を行う

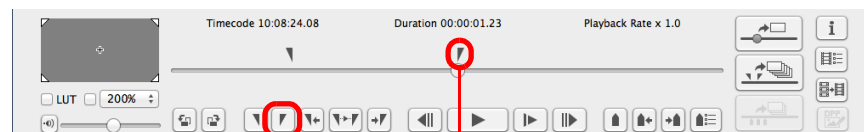
2 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、再生を開始したいフレームがきたら、IN 点設定ボタンを押す



IN 点マーカー
IN 点設定ボタン

- IN 点マーカーが表示され、再生の IN 点（起点）が設定されます。
- 動画再生中でも IN 点設定ボタンを押して、IN 点を設定することができます。
- IN 点が設定されているときは、【】（IN 点へ移動）ボタンを押すと、IN 点のフレームが表示されます。IN 点が設定されていないときは、クリップの先頭のフレームが表示されます。動画再生中に【】（IN 点へ移動）ボタンを操作することもできます。

3 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、再生を終了させたいフレームがきたら、OUT 点設定ボタンを押す



OUT 点設定ボタン OUT 点マーカー

- OUT 点マーカーが表示され、再生の OUT 点（終点）が設定されます。
- 動画再生中でも OUT 点設定ボタンを押して、OUT 点を設定することができます。
- OUT 点が設定されているときは、【】（OUT 点へ移動）ボタンを押すと、OUT 点のフレームが表示されます。OUT 点が設定されていないときは、クリップ末尾のフレームが表示されます。動画再生中に【】（OUT 点へ移動）ボタンを操作することもできます。
- IN 点と OUT 点の最大指定範囲は 1 時間です。

はじめに

目次

準備

基本画面

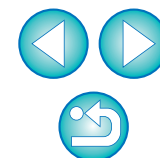
再生

ファイル情報
確認

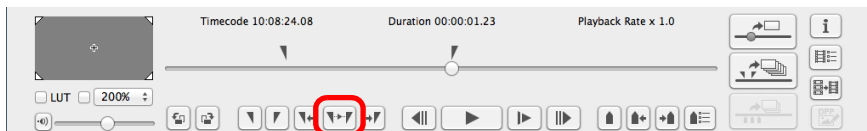
保存

終了

資料



4 [] (IN-OUT 再生) ボタンを押す



- クリップの IN 点と OUT 点間の範囲が再生されます。
- IN 点、OUT 点の解除は、メイン画面メニューの【**マーカー**】から行うことができます。
必要に応じて、【IN 点を削除】、【OUT 点を削除】、【IN 点、OUT 点を両方削除】を選択してください。
- IN 点、OUT 点が設定されていない場合は、以下の範囲が再生されます。
 - ・ IN 点が設定されていない場合は、クリップの先頭フレームから OUT 点までの範囲
 - ・ OUT 点が設定されていない場合は、IN 点からクリップの終点フレームまでの範囲
 - ・ IN 点、OUT 点の両方が設定されていない場合は、クリップの全範囲
- メイン画面メニューの【**ツール**】から【**IN-OUT ループ再生**】を選択すると、クリップの IN 点と OUT 点間のループ再生を行うことができます。



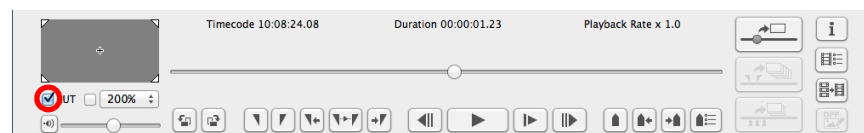
選択したクリップへの IN 点、OUT 点の設定内容は、自動保存され、次回、EMU で該当クリップを扱うときは、設定が継続されます。

Canon Log ガンマを【入】で撮影した動画を再生する



EOS-1D C で Canon Log ガンマ (p.2) を【入】で撮影した動画をそのまま再生すると、暗くコントラストが低い画像に見えます。この場合は、ルックアップテーブル (LUT) を適用して再生すると、通常の見え方に近い画像で確認することができます。

1 【LUT】チェックボックスをチェックする



- Canon Log ガンマを【切】で撮影した動画の場合は、【LUT】チェックボックスにチェックすることはできません。

2 対象の動画を再生する

- 「クリップの再生」 (p.6) の操作を行います。
→ LUT が適用された動画が再生されます。



LUT チェックボックスのチェックマークの有無は、〈B〉キーを押して切り替えることもできます。

はじめに

目次

準備

基本画面

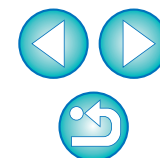
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



フルスクリーンで再生する

1 動画を再生する

- 「クリップの再生」(p.6) の操作を行います。

2 メイン画面でメニューの【表示】▶【フルスクリーン表示】を選ぶ

- 再生中の動画がフルスクリーン表示されます。
- プレビューエリアをダブルクリックしても、フルスクリーン表示になります。
- フルスクリーン表示を解除するときは、〈Esc〉キーを押すか、マウスをダブルクリックします。

動画の表示サイズを切り替える

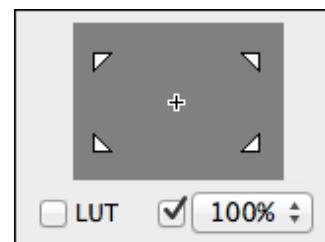
プレビューエリアに表示される動画に対して、【画面に合わせる】モード、【100%】モード、【200%】モードのいずれかの表示方法を適用することができます。

メニューの【表示】▶【画面に合わせる】／【100%】／【200%】のいずれかを選ぶ

- 選んだ表示方法で、プレビューエリアに画像が表示されます。
- コントロールエリアにある倍率変更のリストボックスで【100%】／【200%】のいずれかを選ぶことができます。
- 【画面に合わせる】モードでは、プレビューエリアに画像が収まるように表示されます。
- 【100%】モードでは、プレビューエリアに100%（ピクセル等倍）で拡大表示されます。
- 【200%】モードでは、プレビューエリアに200%で拡大表示されます。
- 【100%】、【200%】モードで画像の表示位置を変えるときは、プレビューエリアの画像をドラッグします。

- 【100%】、【200%】モード時に、倍率変更のリストボックス横のチェックボックスのチェックを外すと、【画面に合わせる】モードになります。
- 【100%】、【200%】モード時の、プレビューエリアでの画像表示位置は、ガイドエリアの拡大表示位置で確認することができます。
- メニューの【表示】▶【画面に合わせる時に拡大しない】にチェックを入れると、プレビューエリアで、動画がピクセル等倍以上に拡大されません。

ガイドエリアの拡大表示位置



はじめに

目次

準備

基本画面

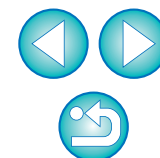
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

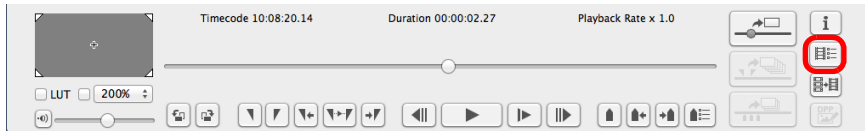
資料



動画ファイルの情報を確認する

クリップの撮影情報を表示、確認することができます。

1 メイン画面のコントロールメニューの【】（クリップリスト）ボタンを押す

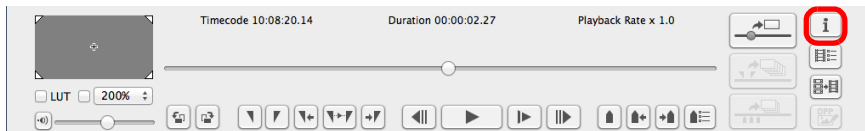


→【クリップリスト】画面が表示されます。

- 当機能を使用するには、あらかじめ、確認する動画ファイルが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」(p.6) の手順 1～2 を参照して、フォルダ選択を行ってください。

2 【クリップリスト】画面で撮影情報を表示したいクリップを選ぶ

3 メイン画面のコントロールメニューの【】（撮影情報表示）ボタンを押す



→撮影情報が【撮影情報】画面に表示されます。

- 撮影情報は、撮影に使用したカメラや、撮影時の設定によって表示される項目が異なる場合があります。

項目	値
クリップ名	xxxxxxxxxxxxxx
ファイルサイズ	238.2 MB
動画圧縮形式	MPEG-4 AVC/H.264
動画圧縮率	標準(PB)
カメラ機種名	Canon EOS XXX
カメラBody No.	xxxxxxxxxxxxxx
撮影日時	xxxx/xx/xx xx:xx:xx
画像サイズ	1920x1080
クリップ長	xx:xx:xx:xx
フレームレート	59.94
タイムコード形式	Drop frame
オーディオチャンネル	2 ch
オーディオレート	48 kHz
オーディオ型式	LPCM
レンズ	EF-S18-55mm f/3.5-5.6 USM
焦点距離	24.0 mm
撮影モード	動画
動画撮影モード	自動露出
測光方式	評価測光
露出補正	0
ISO感度	オート
ISO感度自動設定	オン
ホワイトバランス	オート
ピクチャースタイル	スタンダード
シャープネス	3
コントラスト	0
色の濃さ	0
色あい	0
色空間	sRGB

はじめに

目次

準備

基本画面

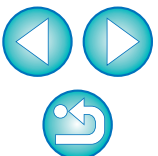
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



静止画として保存する

選択したクリップから、画像を静止画として取り出して保存することができます。

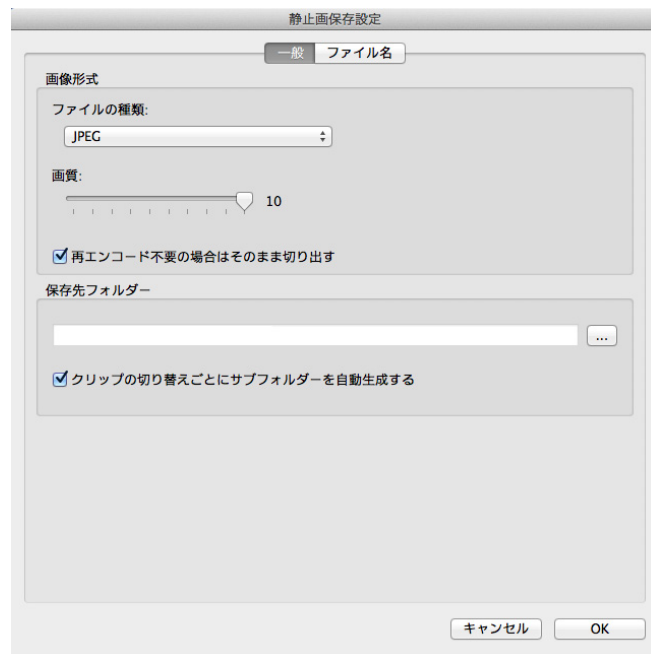
静止画の保存設定

あらかじめ静止画保存の設定を行います。

1 メイン画面で【EOS MOVIE Utility】▶【静止画保存設定...】を選択する

→【静止画保存設定】画面が表示されます。

2 【一般】タブで、必要な設定を行う



- 【ファイルの種類】はプルダウンで表示される型式から選択します。
【TIFF】を選択すると、TIFF 非圧縮 8-bit RGB 形式で保存されます。
【JPEG】を選択したとき、初期設定では【画質】は最も高画質な状態に設定されています。
- 【画像形式】の【ファイルの種類】が【JPEG】に設定されていて、
【再エンコードが不要の場合はそのまま切り出す】チェックボックスにチェックが入っている場合、以下の条件のときは動画から静止画をそのまま切り出して保存します。チェックが入っていないときと比べて処理が高速になります。
 - ・ Canon LOG ガンマを【切】で撮影した 4K 動画
 - ・ Canon LOG ガンマを【入】で撮影した 4K 動画で LUT が適用されていないとき
- 【保存先フォルダー】項目の【...】ボタンを押すと、【フォルダーの参照】画面が表示されるので、保存先にしたいフォルダを選択します。
- 【クリップの切り替え毎にサブフォルダーを自動生成する】チェックボックスをチェックすると、選んだ保存先フォルダにサブフォルダが生成され、静止画が保存されます。保存先フォルダに重複するファイル名のファイルがある場合にも、ファイル名を変更せずに保存することができます。

はじめに

目次

準備

基本画面

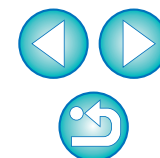
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



3 【ファイル名】タブで、必要な設定を行い【OK】ボタンを押す

→ 設定が完了します。

The screenshot shows the 'Still Image Save Settings' dialog box with the 'File Name' tab selected. The 'Common' section has three checkboxes: 'Change file name' (unchecked), 'Add still image save count' (checked), and 'Reset when selecting clip' (checked). The 'Add still image save count' checkbox is checked, and the 'Still image save count' field is set to '00000'. The '1 Still Image Save' section has a checked checkbox for 'Add time code'. The example file name is 'CLIP_00000_HHMMSSFF.JPG'. The 'Multiple Still Image Save (IN-OUT, Marker)' section has two radio buttons: 'Add time code' (selected) and 'Add serial number'. The example file name is 'CLIP_00000_HHMMSSFF.JPG'. The dialog box has 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons at the bottom right.

- 【共通】項目の各設定は以下の通りです。
 - ・【ファイル名を変更する】チェックボックスにチェックが入っているときは、静止画ファイル名の入力、または変更が可能です。【新しいファイル名】欄に 30 文字以内で入力、または変更を行います。チェックボックスにチェックが入っていないときは、静止画のファイル名の変更はできません。ファイル名は元動画のクリップ名となります。
 - ・【静止画保存回数を付加する】チェックボックスにチェックが入っているときは、静止画の保存回数をファイル名に付加することができます。【静止画保存回数】欄に、ファイル名に付加する保存回数の開始番号を 0 ～ 99999 の範囲の数値で入力します。
 - ・【クリップ選択時にリセットする】チェックボックスにチェックが入っているときは、新たなクリップを選択したときに、【静止画保存回数】欄の保存回数の数値がリセットされます。
- 【1 枚静止画保存】項目の【タイムコードを付加する】チェックボックスにチェックが入っているときは、1 枚静止画保存時のファイル名末尾にタイムコードが付加されます。
- 【複数静止画保存 (IN-OUT、マーカー)】項目の【タイムコードを付加する】を選択したときは、複数静止画保存時のファイル名の末尾にタイムコードが付加されます。また、【連番を付加する】を選択したときは、ファイル名の末尾に連番が付加されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

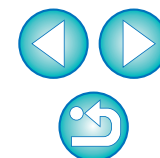
再生

ファイル情報
確認

保存

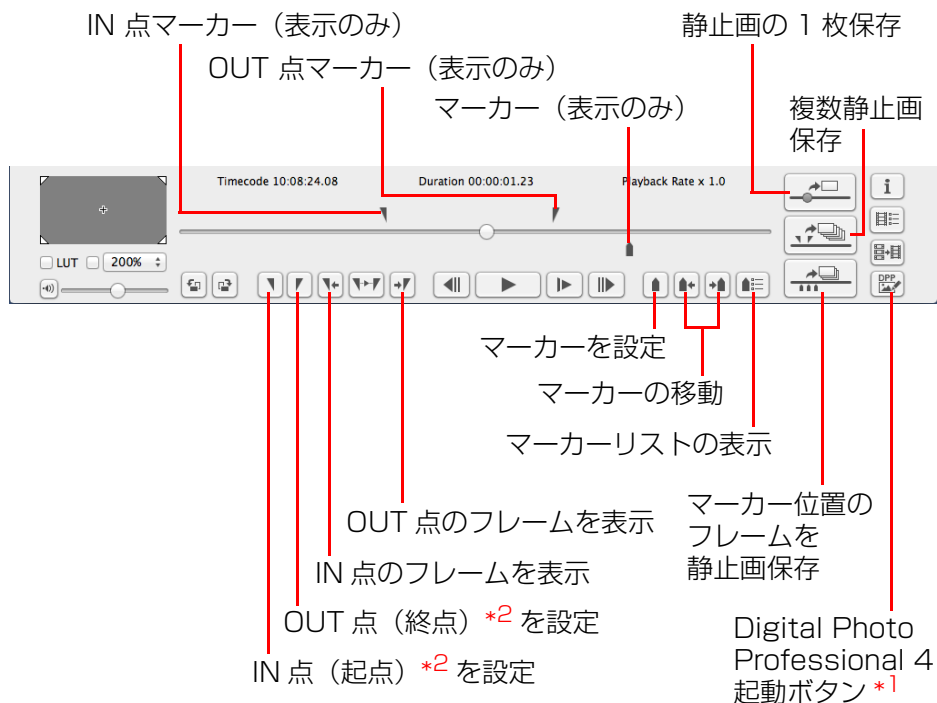
終了

資料



静止画保存時の操作

静止画保存時は、各種ボタンで下記の操作ができます。



*1 Digital Photo Professional 4 が起動し、ボタンを押す前に保存された静止画が表示されます。なお、当機能を使用するには、Ver.4.3.20 以降の Digital Photo Professional がパソコンにインストールされている必要があります。

*2 範囲を指定して再生する (p.11)、複数静止画保存 (p.18) の IN 点 (起点)、OUT 点 (終点) です。



- **1DC** : [LUT] チェックボックスをチェックすると、LUT が適用された状態で静止画を保存することができます。
- 付加される撮影情報のうち、焦点距離、シャッター速度、ISO 感度、ホワイトバランス、GPS 情報については、動画撮影開始時の値になりますが、撮影日時については、保存した静止画に対応した日時が計算され付加されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

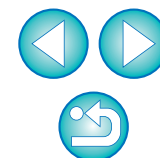
再生

ファイル情報
確認

保存

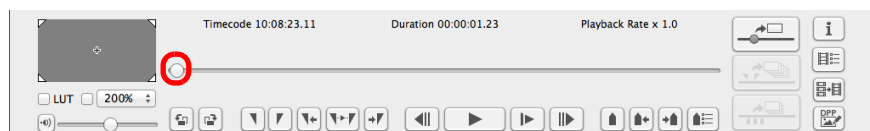
終了

資料

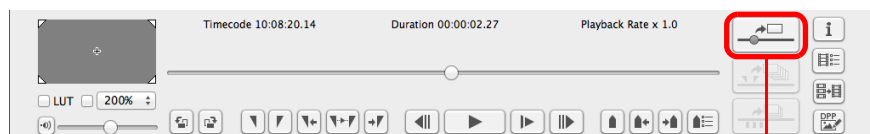


静止画の 1 枚保存

- 1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト】を選択する
→【クリップリスト】画面が表示されます。
- 2 【クリップリスト】画面でクリップを選ぶ
- 3 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、保存したいフレームを表示させる



- 4 1 枚静止画保存ボタンを押す



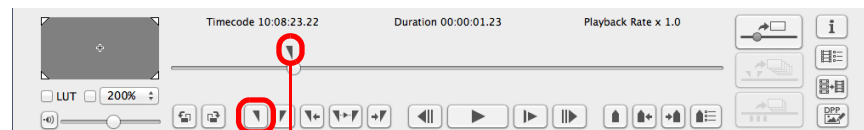
1 枚静止画保存ボタン

- 【静止画保存設定】画面で行った設定で保存が行われます。
- 動画再生中も 1 枚静止画保存ボタンを押して、静止画を保存することができます。その場合は、動画再生を一時停止のうえ、停止位置のフレームが静止画として保存されます。

複数静止画保存

選択したクリップに対して、静止画を保存する範囲の指定を行い、指定範囲内の全フレームを静止画として保存することができます。

- 1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト】を選択する
→【クリップリスト】画面が表示されます。
- 2 【クリップリスト】画面でクリップを選ぶ
- 3 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、保存を開始したいフレームがきたら、IN 点設定ボタンを押す



IN 点マーカ
IN 点設定ボタン

- IN 点マーカが表示され、保存の IN 点（起点）が設定されます。
- 動画再生中も IN 点設定ボタンを押して、IN 点を設定することができます。
- IN 点を設定されているときは、【◀▶】（IN 点へ移動）ボタンを押すと、IN 点のフレームが表示されます。IN 点を設定されていないときは、クリップの先頭のフレームが表示されます。動画再生中に【◀▶】（IN 点へ移動）ボタンを操作することもできます。

はじめに

目次

準備

基本画面

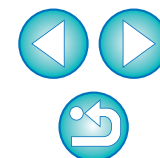
再生

ファイル情報
確認

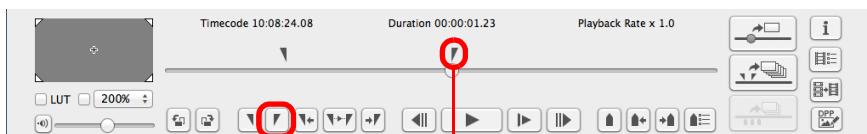
保存

終了

資料



4 フレーム位置スライダーを左右にドラッグして、保存を終了させたいフレームがきたら、OUT 点設定ボタンを押す



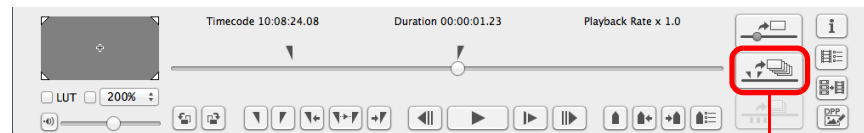
OUT 点設定ボタン

OUT 点マーカ

→ OUT 点マーカが表示され、保存の OUT 点（終点）が設定されます。

- 動画再生中も OUT 点設定ボタンを押して、OUT 点を設定することができます。
- OUT 点が設定されているときは、【→】（OUT 点へ移動）ボタンを押すと、OUT 点のフレームが表示されます。OUT 点が設定されていないときは、クリップ末尾のフレームが表示されます。動画再生中に【→】（OUT 点へ移動）ボタンを操作することもできます。
- IN 点と OUT 点の最大指定範囲は 1 時間です。
- IN 点、OUT 点の解除は、メイン画面メニューの【マーカー】から行うことができます。
必要に応じて、【IN 点を削除】、【OUT 点を削除】、【IN 点、OUT 点を両方削除】を選択してください。

5 複数静止画保存ボタンを押す



複数静止画保存ボタン

- 【静止画保存設定】画面で行った設定で、IN 点と OUT 点間の全フレームが静止画として保存されます。
- 動画再生中も複数静止画保存ボタンを押して、複数静止画の保存を行うことができます。その場合は、動画再生が一時停止します。

はじめに

目次

準備

基本画面

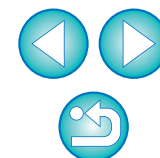
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

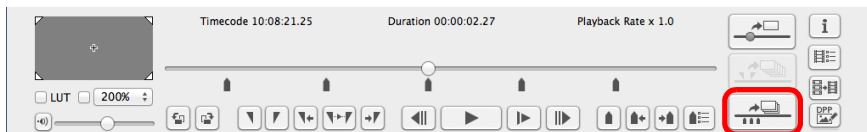
資料



選択したクリップへの IN 点、OUT 点の設定内容は、自動保存され、次回、EMU で該当クリップを扱うときは、設定が継続されます。

マーカー設定したフレームをすべて静止画保存する

【】ボタンを押す



→ 設定したマーカー位置のフレームが、【静止画保存設定】画面で行った設定で、すべて静止画保存されます。

次の方法でも、マーカー設定したフレームをすべて静止画保存することができます。

- 1 コントロールエリアの【】（マーカーリスト）ボタンを押して、マーカーリストを表示する
- 2 マーカーリストの【すべて静止画保存】ボタンを押す

はじめに

目次

準備

基本画面

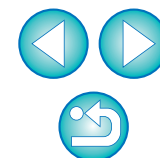
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



動画ファイルを結合保存する

📷 1D C 1D X Mk II 5DS/5DS R 7D Mk II

当機能では、カメラで分割保存された動画ファイルを結合保存することができます。なお、当機能を使用できるのは、1D C、1D X Mk II、5DS/5DS R、7D Mk II で撮影した動画です。

クリップを構成する動画ファイルを確認する

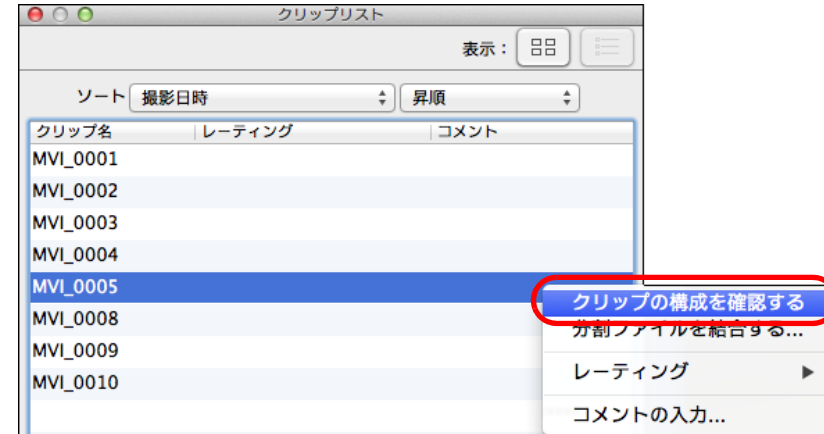
EMU では、分割された動画ファイルも 1 つのクリップとして表示されます。下記の操作で、分割された動画ファイルで構成されるクリップを調べることができます。

1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト...】を選択する

→【クリップリスト】画面が表示されます。

- 当機能を使用するには、あらかじめ、確認するクリップが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」(p.6) の手順 1～2 を参照して、フォルダ選択を行ってください。

2 【クリップリスト】画面で、構成を確認したいクリップを選択し、<control> + クリックして、表示されるメニューから【クリップの構成を確認する】を選ぶ



→【クリップの構成】画面が表示されます。



クリップが分割された動画ファイルで構成される場合は、複数行で動画ファイル名が表示されます。

はじめに

目次

準備

基本画面

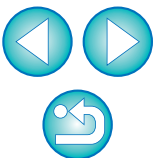
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料

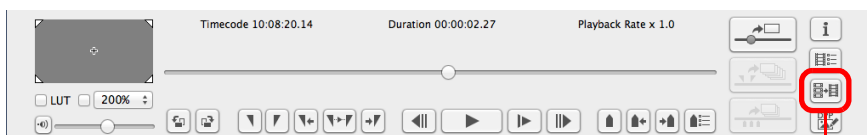


分割された動画ファイルを結合保存する

分割された動画ファイルで構成されているクリップは、下記の操作で動画ファイルの結合保存を行うことができます。なお、オリジナルの動画ファイルは元のフォルダにそのまま残ります。

フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを結合保存する

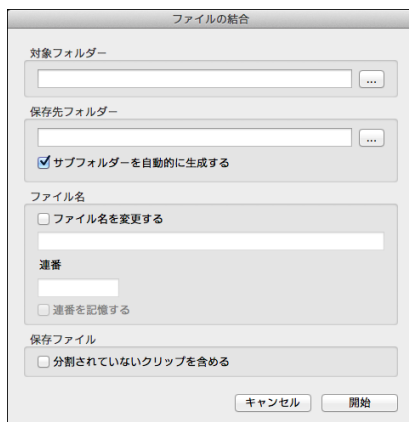
1 メイン画面の分割ファイル結合ボタンを押す



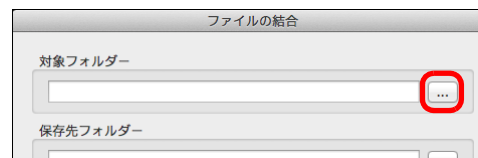
分割ファイル結合ボタン

→【ファイルの結合】画面が表示されます。

- メイン画面でメニューの【ツール】▶【分割ファイルの結合...】を選ぶことでも【ファイルの結合】画面を表示させることができます。



2 【対象フォルダー】の【...】ボタンを押し、結合する動画ファイルが入っているフォルダを選ぶ



- 選択したフォルダに保存されている、すべての動画ファイルが対象となります。

はじめに

目次

準備

基本画面

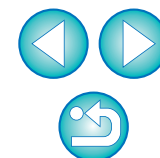
再生

ファイル情報
確認

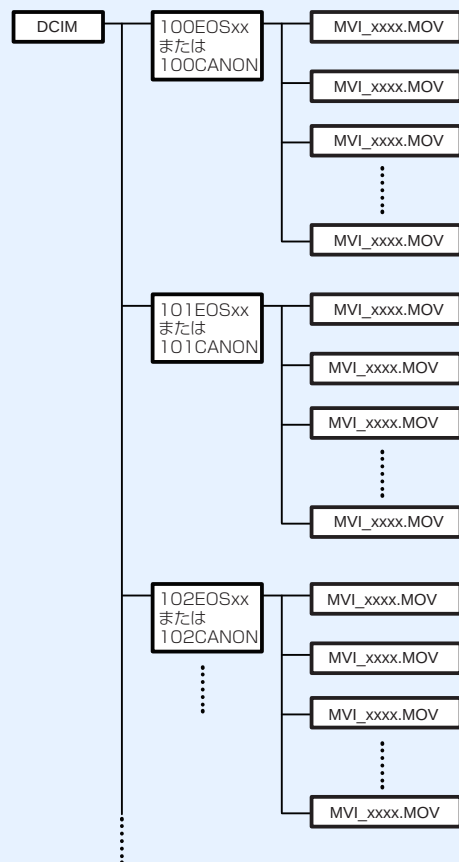
保存

終了

資料

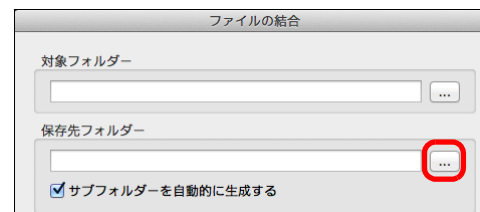


❗ カメラで撮影された動画ファイルは、以下のフォルダ構成にしたがってメモリーカードに記録されます。

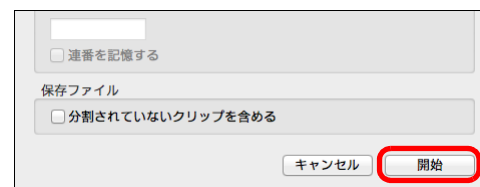


当ソフトウェアでは、このフォルダ構成が維持されていないと、分割された動画ファイルが、正しく結合できない場合があります。「フォルダ内にあるすべての分割された動画ファイルを結合保存する」場合は、このフォルダ構成を維持したまま、フォルダ構成の最上位の階層にあるDCIMフォルダを選択してください。なお、フォルダ構成が維持されていても、選択したフォルダ名が【DCIM】と異なる名称に変更されていると、正しく結合ができない場合がありますのでご注意ください。

3 【保存先フォルダー】の【...】ボタンを押し、結合した動画ファイルを保存するフォルダを選ぶ



4 【開始】ボタンを押す



→ 結合と保存が開始されます。

● 結合と保存が完了すると、メッセージが表示されます。



- 【サブフォルダーを自動的に生成する】 チェックボックスをチェックすると、手順3で選んだ保存先フォルダにサブフォルダが生成され、結合した動画ファイルが保存されます。保存先フォルダに重複するファイル名のファイルがある場合にも、ファイル名を変更せずに保存することができます。
- 【ファイル名を変更する】 チェックボックスをチェックすると、結合保存した動画のファイル名を変更できます。
- ファイル名に連番の番号を付けたい場合は、【連番】欄に開始番号を入力します。開始番号は5ケタまでの数字を入力することができます。【連番を記憶する】 チェックボックスをチェックすると、【ファイルの結合】画面を閉じた後、ふたたび、同画面を表示して動画ファイルの結合保存を行う場合にも、連番を続けて付けることができます。
- 【分割されていないクリップを含める】 をチェックすると、手順2で選んだフォルダに保存されている動画ファイルのうち、分割されていない動画ファイルも合わせて保存先にコピーすることができます。

はじめに

目次

準備

基本画面

再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



1 クリップのみの分割された動画ファイルを結合保存する

1 メイン画面でメニューの【表示】▶【クリップリスト...】を選ぶ

→【クリップリスト】画面が表示されます。

- 当機能を使用するには、あらかじめ、結合する動画ファイルが保存されているフォルダが選択されている必要があります。フォルダが選択されていない場合は、「クリップの再生」(p.6)の手順1～2を参照して、フォルダ選択を行ってください。

2 【クリップリスト】画面で、結合保存したいクリップを選択し、<control> + クリックで、表示されるメニューから【分割ファイルを結合する...】を選ぶ

→【ファイルの結合】画面が表示されます。

3 【保存先フォルダー】の【...】ボタンを押し、結合した動画ファイルを保存するフォルダを選ぶ

4 【開始】ボタンを押す

→結合と保存が開始されます。

- 結合保存が完了すると、メッセージが表示されます。

EMU を終了する

メイン画面でメニューの【EOS MOVIE Utility】▶
【EOS MOVIE Utility を終了】を選ぶ

→EMU が終了します。

はじめに

目次

準備

基本画面

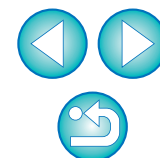
再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料



こんなときは

EMU が正しく動作しないときは、下記の例を参考にしてください。

EMU が動かない

- 動作環境を満たす RAM（メモリー）容量をパソコンに搭載していても、EMU と共に他のソフトウェアを立ち上げていると、RAM（メモリー）が不足することがあります。EMU 以外のソフトウェアを終了してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、下記の例を参考にしてください。

メッセージ	原因と対処
選択されたパスには書き込みができません。	保存先に指定したメモリーカードは書き込み禁止になっています。書き込み可能なカードを入れてください。
連番を入力してください。	連番が入力されていません。動画ファイルを結合するクリップが複数ある場合、連番の開始番号を入力してください。
保存先のファイルシステムが、保存するファイルのサイズに対応していません。	保存先のファイルシステムが、保存するファイルのサイズに対応していません。保存先を変更してください。
ファイルに付加する連番が不足します。	ファイル名に付ける連番が 99999 を超えています。連番に入力する数値を変更するか、ファイルの保存先を変更してください。
他のユーザーがすでに起動しています。	EOS MOVIE Utility を起動中のユーザーアカウントで Macintosh にログインして EOS MOVIE Utility を終了してから、起動し直してください。
出力先のファイルシステムが 4 GB 以上のファイルに非対応の可能性があります。続けますか？	保存先フォルダがあるドライブには、結合した動画ファイルを保存できない可能性があります。保存先のドライブのファイルシステムが 4GB 以上のファイルをサポートしていることを確認してください。
空き容量が不足したため、結合できませんでした。	保存先フォルダがあるドライブの空き容量が不足しています。空き容量を確保するか、保存先を変更して、結合処理をやり直してください。
結合処理に失敗しました。	保存先フォルダがあるか確認をしてください。保存先フォルダが外部ストレージの場合は、パソコンに正しく接続されているか確認をしてください。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

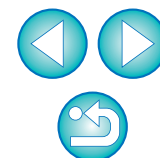
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



キーボードコントロール

キーの種類	
Space	再生／停止
Shift+Space	IN 点と OUT 点間の範囲を再生
→	コマ送り
←	コマ戻し
Shift+ →	複数静止画保存の OUT 点へ移動
Shift+ ←	複数静止画保存の IN 点へ移動
Shift+ ↑	クリップの先頭側の隣マーカースelection
Shift+ ↓	クリップの終点側の隣マーカースelection
Home	先頭フレームに移動
End	終点フレームに移動
B	ルックアップテーブル [LUT] を有効／無効
L	再生
Shift+L	IN 点と OUT 点間の範囲を再生 再生状態のときに押すと、再度再生
K	停止
S	再生速度を調整
V	表示サイズの切り替え
F	フルスクリーン表示
Command+S	静止画の 1 枚保存
Command+T	複数静止画保存
Command+option+M	マーカースelectionしたフレームをすべて静止画保存
D	フォルダ内のすべての分割された動画ファイルを結合保存

はじめに

目 次

準 備

基本画面

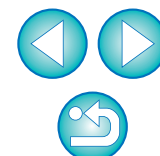
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- 削除するフォルダやソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、メニューの【Finder】 ▶ 【ゴミ箱を空にする ...】 を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- 【Canon Utilities】 フォルダを開きます。

2 削除したいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上でメニューの【Finder】 ▶ 【ゴミ箱を空にする ...】 を選ぶ

- ソフトウェアが削除されます。
- ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

! ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に注意してから削除してください。

はじめに

目 次

準 備

基本画面

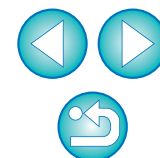
再 生

ファイル情報
確認

保 存

終 了

資 料



この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

EOS DIGITAL 用ソフトウェアに関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：9：00～18：00

（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

目次

準備

基本画面

再生

ファイル情報
確認

保存

終了

資料

